

発注企業動向調査結果

-2016.2-

■調査時点 平成27年12月調査(平成27年12月末時点)

■対象企業 150社

■調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

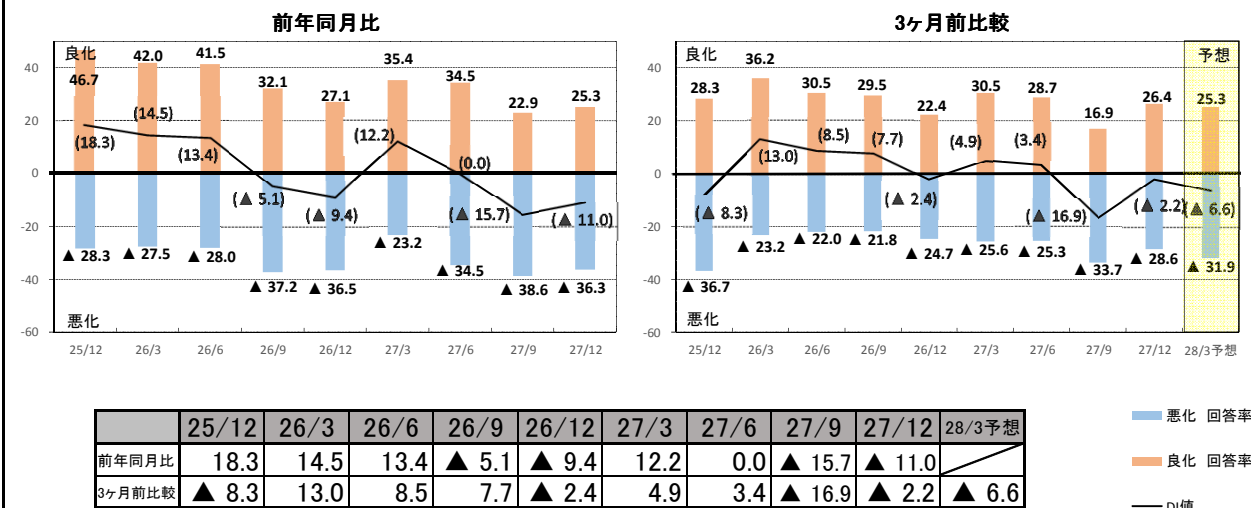
■回答企業 91社(回答率:60.67%)

<業種内訳>

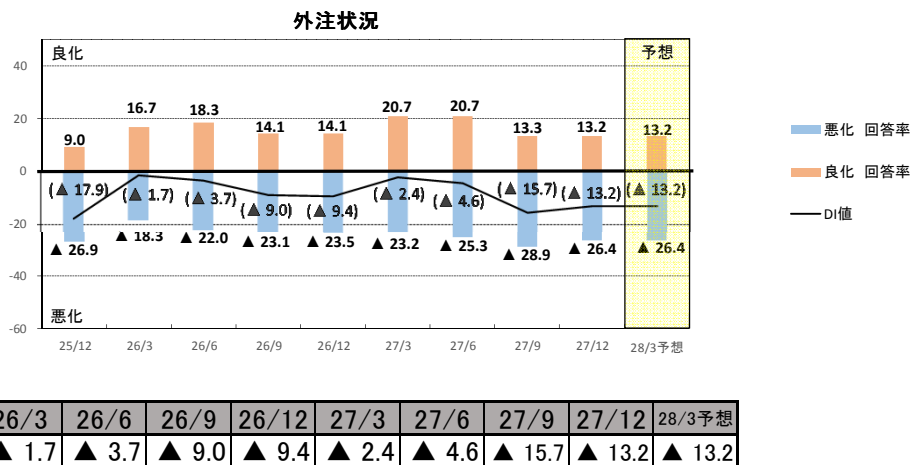
プラスチック	11社
鉄鋼・非鉄	9社
金属製品	10社
一般機械器具	17社
電気機器	17社
輸送用機器	17社
精密機器	3社
縫製	7社
計	91社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは(▲11.0)で前回の(▲15.7)から4.7ポイント増の良化となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは(▲2.2)で前回の(▲16.9)から14.7ポイント増の大幅良化となった。
- ・外注状況は(▲13.2)で前回の(▲15.7)から2.5ポイント増で横ばいとなった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(▲6.6)で4.4ポイント減の悪化、外注状況が(▲13.2)で前回と変わらず横ばいとなった。
- ・生産高はゆるやかな回復を見せているが、今後の生産量減少・受注減少や先が見えないといった声も多く、一時的なものであると考えられる。
- また、生産を海外へシフトしている企業もあり、以前からの円安の影響で大手企業の一部の生産は国内回帰が進んでいるものの、生産のメインは未だに海外である事に変わりはない。